

平成 29 年度 ネバーランド居宅介護支援事業所事業計画書

<事業の種類>

- ・居宅介護支援事業所

<運営方針>

在宅で生活されている方、また、その家族の相談等に応じて必要な援助を行い
できる限り在宅で、自立した生活が送れるように支援していく。

また、地域の方々にとって、身近な相談窓口として機能するように努める。

<事業計画>

1、基本事業

- (1) 利用者から相談を受けて、要介護認定の申請代行、取次ぎを行う。
- (2) 認定後の福祉制度の活用や居宅サービス計画の作成、サービスの導入や
連絡調整、モニタリング、給付管理業務等を行う。
- (3) 契約市町村より、委託を受け、要介護認定調査を行う。
- (4) 地域包括支援センターから委託を受けて、要支援 1・要支援 2 の利用者の介護
予防プランを作成し、介護予防サービス提供の確保、介護予防サービス事業者
等との連絡調整等を行う

2、地域とのつながりを深めて、地域福祉に貢献する。

- (1) 「ぴっふネバーランド」を年 2 回開催する。内容は、地域にお住まいの高齢者
の実情や、情報交換・意見交換を主に行う。また、高齢者福祉に関する事など
の研修会等も実施する。※「ぴっふ」とは、「小さな種」という意味
対象者 民生委員（船津・山田・豊富・砥堀校区）
開催時期 第 1 4 回平成 2 9 年 6 月 第 1 5 回平成 2 9 年 1 2 月

- (2) 「地域のつどい」の開催

地域の自治会・民生委員との交流会を年 1 回開催する。

対象者 自治会長、民生委員（船津・山田・豊富・砥堀校区）

開催時期 平成 3 0 年 3 月

- (3) 「地域交流会」の開催

地域住民や介護者を対象に、介護教室や交流会を年 1～2 回開催する

開催時期 平成 2 9 年 1 0 月

3、介護支援専門員の資質向上に努める

地域の外部研修等に参加して、知識を深めると共に情報収集に努めていく。

<年間目標>

ケアプラン件数

- ・平成28年12月現在 平均90件/月
- ・平成29年度目標 ケアプラン件数 月95件 年間1,140件

※目標設定の根拠

毎月、平均して約3～5%の利用者が一時的に入院・入所等して、給付実績につながらない利用者を考慮して、毎月実績97%維持を目指す。

<目標達成の為の具体策>

- ・関係機関との連携を円滑にして、安心して任せて頂ける事業所づくりを目指す。
→医療機関や地域包括支援センター、介護サービス事業所等から信頼を得ることで、新規利用につなげていく。
信頼を得るために、適切で迅速な対応を心がけ実践していく。
- ・今後、地域包括ケアシステム構築に向けて、地域のつながりや支え合いの強化の為に、交流の場として「地域交流会」を定期的実施することで、地域住民との信頼関係を構築し、地域に根差した施設となるように努める。
その上で、居宅が窓口となり当法人の他事業サービスの利用につなげていく。